

# 2020年度 環境経営レポート

(対象期間:2019年4月～2020年3月)



株式会社 丸美佐藤組

作成日: 2020年 8月28日

# 株式会社丸美佐藤組環境経営方針

## 〈環境理念〉

株式会社丸美佐藤組は、「住みよい郷土づくりに貢献することを企業理念とし、技術と信頼の追求と地域に密着した企業経営を目指し従業員一丸となり、力を合わせてすべての災害を防止し安全で明るい職場を築く」の企業理念にもとづき、深刻化する環境問題に向き合い既に取り組んでいる環境活動を、より積極的に全社一丸となって取り組みます。

## 〈環境保全への行動指針〉

1. 建設機械等の燃料使用量の削減に努め、二酸化炭素の排出削減を推進します。
  - ・環境に配慮した工法・施工の推進に努めます。
  - ・低騒音・低排出ガス仕様の機械の使用を推進します。
  - ・エネルギーの効率的な使用に努めます
2. 廃棄物の削減と建設副産物のリサイクル活動の推進をします。
3. 化学物質の適正な管理の推進に努めます。
4. 事務用品、再生建設資材等、グリーン購入に努めます。
5. 地域との環境活動に努めます。
6. 関係する環境関連法規制等を遵守します。
7. 節水に努めます。
8. 全社員に環境経営方針を周知し、社員教育を重ね意識及び能力の向上を図ります。
9. 環境経営レポートを広く一般に公開します。

制定日： 2018年 7月 1日

改定日： 2020年 9月 1日

株式会社 丸 美 佐 藤 組

代表取締役 佐藤 善一



## 1 対象組織の概要

### 1 名称及び代表者名

株式会社 丸 美 佐 藤 組

代表取締役 佐藤 善一

### 2 所在地(従業員数、建屋延べ面積)

本社 青森県青森市けやき1丁目2番8号 28名、 152.28m<sup>2</sup>

### 3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 工事部 對馬 等 TEL 017-726-2256

環境担当者 総務部 佐藤 梅子 TEL 017-726-2256

### 4 事業活動の内容

・ 土木一式工事業、とび・土工・コンクリート工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、

### 5 事業規模

資本金 2,000万円

売上高 6億8877万円(令和元年度)

従業員数 28人

### 6 事業年度

1月～12月まで

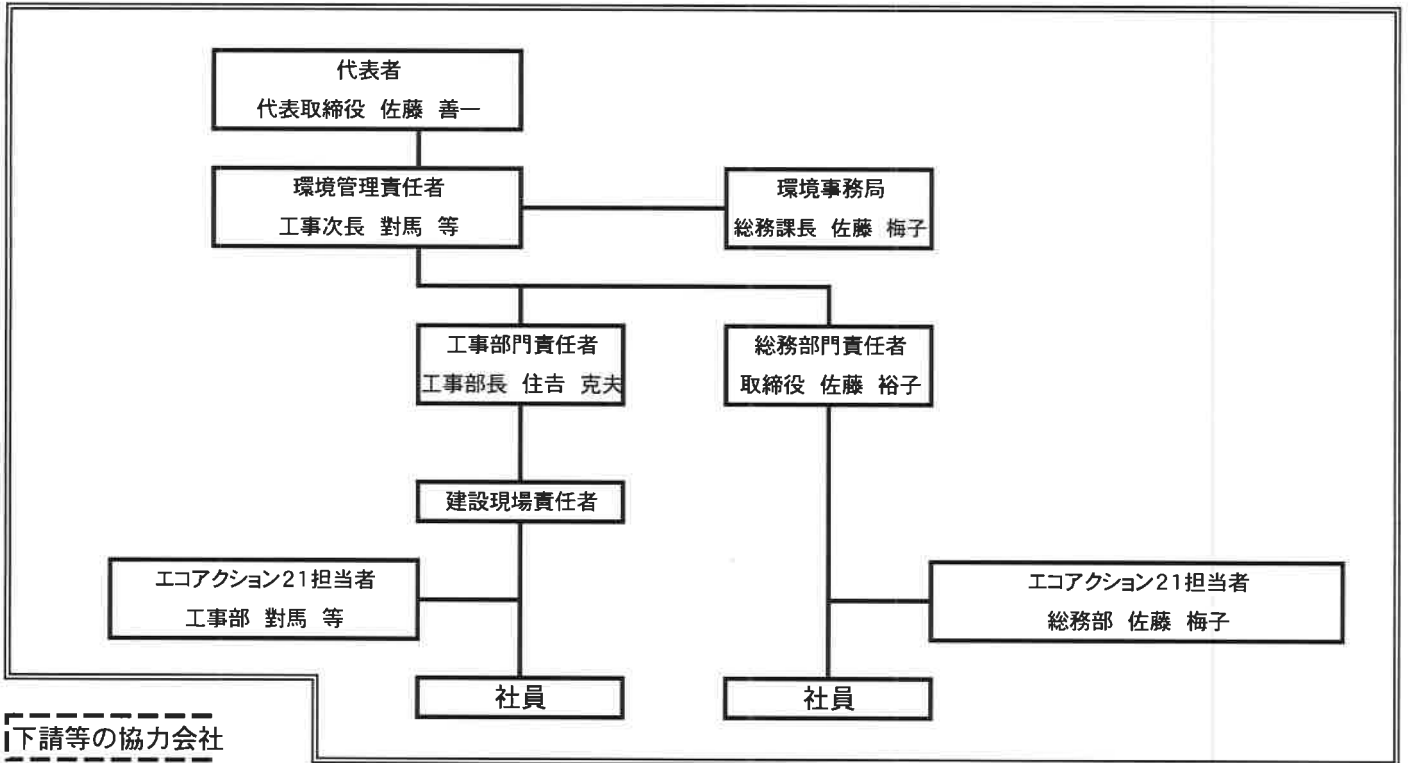
### 7 認証登録の対象範囲

・全サイト・全組織・全活動

### 8 取組の対象期間

平成31年 4月～令和 2年 3月

9. 株式会社丸美佐藤組 EA21実施体制図



環境経営システム 役割・責任・権限表

職名(氏名)	役割・責任・権限
代表者 代表取締役 佐藤 善一	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任。</li> <li>・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・全体の評価と見直しと指示</li> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者 工事部 対馬 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>・問題点の是正、予防処置の指示・確認。</li> <li>・環境活動の取組状況を代表者へ報告</li> </ul>
環境事務局 エコアクション21事務局 総務部 佐藤 梅子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局。</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案の作成。</li> <li>・環境活動チェック表等の実績集計。</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> </ul>
建設現場責任者 ・住吉 ・木谷 ・対馬 ・唐川 ・張山 ・吉川 ・高谷 ・成田 ・品川 ・高橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。</li> <li>・環境方針の部内への周知。</li> <li>・教育訓練の実施</li> <li>・環境活動計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>・緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成。</li> <li>・問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

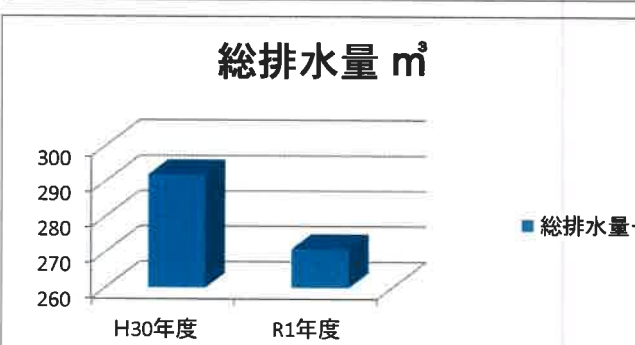
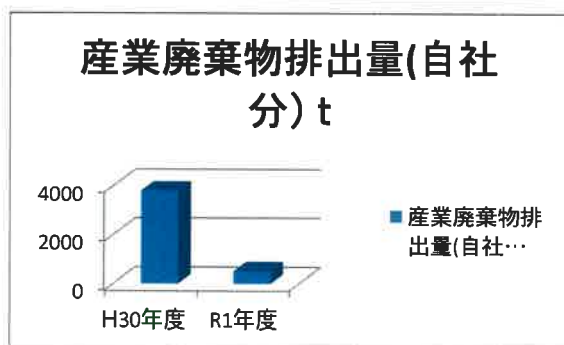
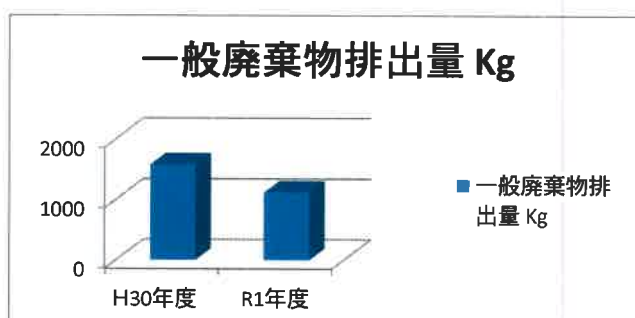
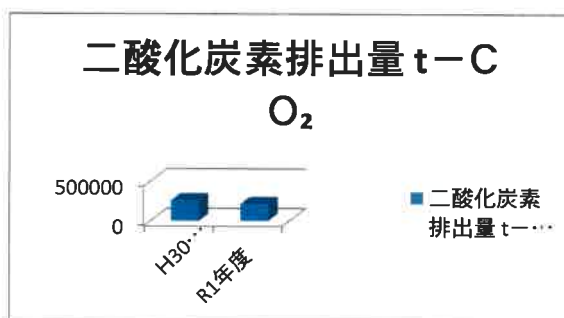
### III 環境目標とその実績

#### 1. 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成30年度	令和元年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	261151	216795
一般廃棄物排出量	Kg	1577	1115
産業廃棄物排出量(自社分)	t	3806	519
総排水量(水資源投入量)	m <sup>3</sup>	292	271
化学物質使用量	Kg	0	464
グリーン購入量(環境物品購入)	t	1065.6	2168.9
環境に配慮した施工	件数	—	—
地域貢献活動	件数	5	5

(注)二酸化炭素排出量(電力)の算定に使用した排出係数は、0.548kg-CO<sub>2</sub>/KWhです。



(会社全体(事務所+建設現場))

コア指標	環境方針	環境目標項目	削減率又は増加率(%)	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)			2018年度 (2018.4~2019.3)	
					2019年度	2020年度	2021年度	基準年度	削減率又は増加率(%)
								基準値	目標値
			単位	基準値					
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率(%)	2018年度	2	2	2	2018年度	2
			kwh	23,820	23,344	23,344	23,344	23,820	23,344
		灯油の削減	削減率(%)	2018年度	2	2	2	2018年度	1
			L	4,154	4,071	4,071	4,071	4,154	4,071
		LPGの削減	削減率(%)	2018年度	1	1	1	2018年度	1
			kg	8.4	8.3	8.3	8.3	8.4	8.3
	ガソリンの削減	削減率(%)	2018年度	2	2	2	2018年度	2	
L		25,290	24,784	24,784	24,784	25,290	24,784		
軽油の削減	削減率(%)	2018年度	2	2	2	2018年度	2		
	L	68,210	66,846	66,846	66,846	68,210	66,846		
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	削減率(%)	2018年度	2.0	2.0	2.0	2018年度	2.0	
		kgCO <sub>2</sub>	261,151	255,928	255,928	255,928	261,151	255,928	
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率(%)	2018年度	1	1	1	2018年度	1
			kg	1,577	1,561	1,561	1,561	1,577	1,561
建設副産物の再資源化の推進	再資源化率の増加	再資源化率の増加	再資源化率	2018年度				2018年度	
			(%)	97	97	97	97	97	
総排水量	節水	節水	削減率(%)	2018年度	2	2	2	2018年度	2
			m <sup>3</sup>	292	286	286	286	292	286
化学物質		化学物質の管理推進	削減率(%)	2018年度	0 ・化学物質の漏洩等が無いよう適正に管理し、定期的に確認する。			2018年度	行動目標 ・化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。
グリーン購入	グリーン購入の推進	事務用品等環境配慮製品の使用推進	増加率(%)	2018年度	0 ・環境物品の購入を推進する。			2018年度	0 ・環境物品の購入を推進する。
施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	環境保全に配慮した事業活動	環境配慮型施工等の推進	増加率(%)	2018年度	0 ・環境に配慮した施工及び作業を推進するよう適切に管理し、定期的に確認する			2018年度	0 ・環境に配慮した施工及び作業を推進するよう適切に管理し、定期的に確認する
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率(%)	2018年度	-	-	-	2018年度	
			件数	5	5	5	5	5	

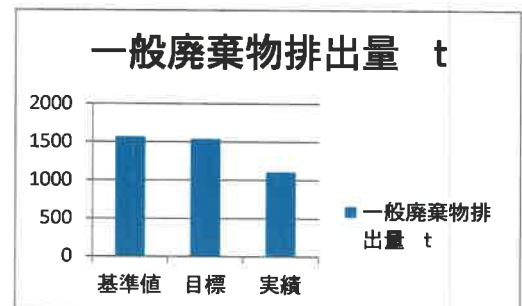
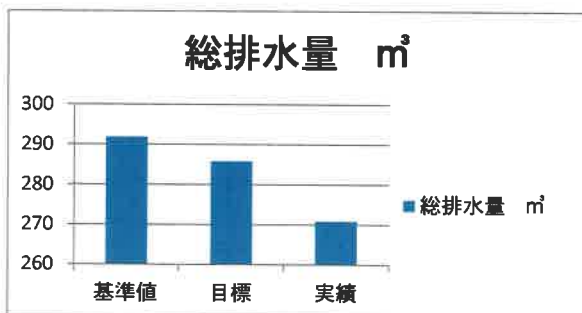
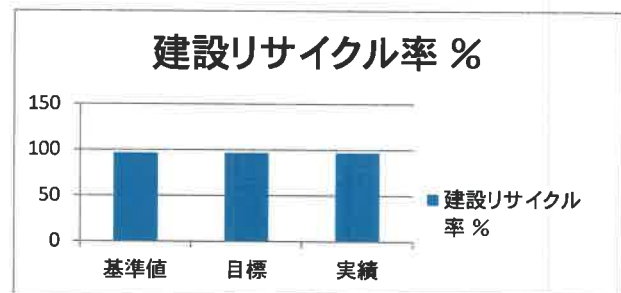
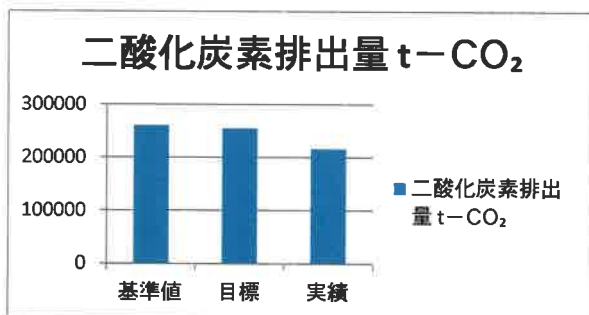
購入電力の排出係数は、平成28年度実績 H29.12.21環境省・経済産業省公表 東北電力(株)の調整後排出係数0.548を使用しました。

### 3. 環境目標の実績

電気使用量については、昨年に続き猛暑により、8月電力量は前年の19%増加となりました。しかし、7月は前年の73%と少なく、9月は前年並みの使用量となりました。3ヶ月対比で前年の0.2%減と僅かではありますが削減となりました。年間では20%の削減となりました。ガソリンにつきましては年間で1.5%の削減となりましたが目標の2%に達しませんでした。軽油におきましては、22%の削減となりました。燃料関係は2018年の冬の豪雪と対し小雪となり削減につながりましたが、売上は前年より52%の減少となりました。

表3-1 当該年度の環境目標の達成状況等(全社)

項目	単位	基準値 (2018年度)	2019年度			環境目標の 達成状況
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
1. 二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	261151	2%削減	255928.0452	216795	達成
電力使用量	KWh	23820	2%削減	23343.6	19292	達成
灯油使用量	L	4154	2%削減	4070.92	3204	達成
LPG使用量	kg	8.4	1%削減	8.316	8.3	達成
ガソリン使用量	L	25290	2%削減	24784.2	24918	未達成
軽油使用量	L	68210	2%削減	66845.8	53485	達成
2. 一般廃棄物排出量	t(kg)	1577	2%削減	1545.46	1115	達成
3. 建設リサイクル率	%	97	—	97	97	達成
4. 総排水量(水資源投入量)	m <sup>3</sup>	292	2%削減	286.16	271	達成
5. 化学物質使用量	kg	—	・化学物質を適正に管理し、定期的確認する。			—
6. グリーン購入(環境物品購入)	品目数	—	・環境物品の購入を推進する。			—
7. 自らが施工・販売・ 提供する製品及び サービス	環境に配慮した施工 に関する項目	件数	・環境に配慮した施工及び作業を推進するよう適切 に管理し、定期的確認する。			—
8. 地域貢献活動	件数	5	—	5	5	達成



## IV. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

### 1. 環境活動計画、取組結果と次年度の取組内容

表4 主な環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組み結果と次年度の取組み内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯している ②事務室の照明はLEDを採用し、更に部分照明を実行している ③パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている ④夜間、休日は、パソコン、プリンターなどの主電源は切っている ⑤便座の蓋をすることによる待機電力カットをしている。	○	2019年度12ヶ月間、前年実績より減少月は9ヶ月間、計画より減少は8ヶ月間でした。大きな要因として夏は昨年度と同じ猛暑、冬は異常な暖冬となり降雪も前年の49%と半分以下となったことが挙げられますが、全従業員が各項目ごとに電力の削減二酸化炭素の削減に努力したことも大きな要因である。次年度は現場のパトロール時に、電気・ストーブの消し忘れがないかの項目も重要課題にする。
	建設機械等の燃料の二酸化炭素削減	①建設機械等の作業は、過剰な負荷を掛けないようにしている ②建設機械等の作業を停止するときは、エンジンを停止している ③建設機械等は、定期的自主点検の他、施工開始時等に点検を実行している ④建設機械等の過積載が行われないよう徹底している ⑤エコドライブの励行のため定期的に声が行っている	○	
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①エアコン温度の適温化(夏27℃程度)を徹底している ②夏季におけるクールビズによる服装の工夫をして、エアコンの使用を抑える ③ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節している	○	
廃棄物排出量削減	廃棄物の発生抑制	①裏紙を使用し、ごみの発生を抑制し、紙類の廃棄物の削減に努める ②OA機器等の故障時には、修理可能かどうかチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている ③施工温度の影響による品質劣化を防ぐため温度管理を徹底している	○	一般廃棄物は、数値を見ても3年間対比して確実に削減されてきている。ごみ集積場所の改修をしたことにより、分別の徹底がされた。次年度は各現場ごとのリサイクル品の対応に注意を図りたい。
	リサイクルの促進	①紙、金属缶、ガラス瓶、プラスチック、電池等について、分別ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している ②資源ごみがリサイクルされるよう委託業者等に対して確認している	○	
	産業廃棄物等の適正処理	①廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている ②発生する廃棄物混合廃棄物を分解等して分別し、リユース、リサイクルしている	○	
総排水量削減	節水・排水の処理	①手洗い時や洗い物においては、日常的に節水を励行している ②水道配管からの漏水がないか定期的に点検・確認している ③建設機械等を洗車する場合は、泥等を落としてから行っている ④作業方法を見直し、水質汚濁の少ない方法に変更している	○	目標は達成できた。節水の意識を高め次年度も継続していく。
化学物質の管理推進		①屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に取り組んでいる ②建設現場等で使用する化学物質は、生分解性等の環境に優しい製品の使用を促進する。 ③建設現場等における化学物質は必要最小限の使用量とし、保管は原則行わない。 ④建設現場等で使用する有害性の化学物質は、流出防止対策を徹底している	○	乳剤を使用した現場がありましたが、使用する量のみ購入の為に保管された物はない。今後も利用時には取組内容に注意し今後も継続していく。
グリーン購入	環境に配慮した物品等の購入、使用等	①再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を購入している。 ②環境ラベル認定製品等を優先的に購入している ③再生材料から作られた製品等を優先的に購入、使用している	○	施工現場の工事内容により建設副産物及びグリーン購入が今年度は多く使用されている。今後も積極的に使用頻度を高めていきたい。
環境に配慮した施工の推進		①土砂が飛散しないよう風向きを考慮する等環境に配慮して施工を行っている。 ②ダンプのタイヤの泥除去のため場内の道路は、碎石(鉄板)を敷設している。 ③建設現場等周辺の生活環境に影響の少ない施工方法や作業方法を検討し、施工している。 ④低騒音・低振動型建設機械等の使用等により、騒音・振動を防止している。	○	構内では碎石を敷き、現場においては敷き鉄板等を敷き泥除去などの対策を実施し、環境に配慮した施工に努めた。今後も継続していく。
・環境コミュニケーション ・社会貢献 ・その他		①排出者等に対して情報提供や啓発活動を行っている ②事務所等周辺の景観や生物多様性保全に取り組んでいる ③地域のボランティア活動等に参加し、協力や支援を行っている ④高校生のインターシップの受け入れを実施している。	○	毎年地域の清掃活動及び、高校生のインターシップの受け入れなどに積極的に取り組んでいる。今後も継続していく。

○:評価出来る、△:まずまず評価できる、×:評価できない



## 2. 環境活動の状況

\* 除雪工区内における清掃活動及び東青地区ゴミ拾い



\* 朝礼・安全推進協議会



\* 安全祈願



\* インターンシップ(工業高校生徒)



\* 資源リサイクル活動(空き缶及び古紙回収)



\* 現場事務所資源リサイクル活動(空き缶)



\* コロナウイルス感染防止対策(事務所・現場事務所)



## V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける建設リサイクル法・産業廃棄物処理法等の環境関連法規等について、遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去3年間ありませんでした。

環境関連法規則(環境法規則等遵守チェックリストより抜粋)

法規制	遵守確認
建設リサイクル法	遵守
廃棄物処理法	遵守
騒音規制法	遵守
振動規制法	遵守
フロン排出抑制法	遵守
青森市公害防止条例	遵守

## VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21は、H30年7月から取り組みを始めて2年が経過しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止から、ねぶた祭及び関連イベント等の中止により弊社は大きな痛手を受けました。環境活動の実施にも影響が出ております。2019年の冬は、小雪により重機等の燃料の減少、夏は猛暑による電力量・水道量の増加となった年でありました。

目標達成項目については、今後も削減効果を追求し進めていき、未達成項目は再度見直しをかけ全社員一丸となって環境保全活動に取り組んでいきます。

見直し項目	見直しの必要性	有の場合の指示事項等
環境経営方針	有( )無( )	2017年版の要求事項に基づき見直す。
環境経営目標・環境経営計画	有( )無( )	
環境に関する組織	有( )無( )	
その他のシステム要素	有( )無( )	
その他(外部への対応)	有( )無( )	

\* 省エネリサイクル資源推進掲示物

